元市議会議員16年

漢人あきこ

かんど

無所属

コロナ禍のいま――
私、漢人あきこは
いのちと暮らし最優先の都政をめざします

7/4
都議選

プロフィール 1960年 静岡県生まれ／65年 東京都府中市へ／80年 東京学芸大学入学（85年中退）／重度障がい者の介護ボランティア／83-95年 本町「どろんこ保育所」で12年間保育者／放射能測定室の実現／市女性海外派遣で北欧へ／緑小PTA副会長／1997-2013年 小金井市議4期16年～市民参加と情報公開の制度づくりと市民目線の議会改革／2012年 市民発の環境政党「緑の党グリーンズジャパン」設立に参加／2017年 都議選立候補、次点

https://kandoakiko.com

”はけ”と野川を壊す道路はいらない

小金井市の南側に広がる“はけ”（国分寺崖線）と湧水、野川、雑木林、坂道がつくる里山的自然が、東京都による2本の「都市計画道路」によって分断されようとしています。小金井市民は、これまで何度となく、「計画中止」とする民意を示してきました。しかし、東京都は強硬な姿勢を崩していません。私たちは、いま、コロナ禍で身近な自然の大切さを実感しています。都議会議員選挙は、あらためて「**“はけ”と野川を壊す道路はいらない**」という意思を東京都に示す絶好のチャンスです。今度こそ計画を断念させましょう。

おもな候補予定者の「道路」についての見解	
都民ファーストの会の現職	推　進
自民党の新人	態度不明
漢人あきこ	中止・見直し

私たちの声を東京都に届けよう！

小金井のはけと武蔵野公園を分断する都市計画道路、建設に向けて東京都は着実に進めています。建設の発表から5年がたち、いよいよ崖っぷちにきています。今こそ小金井市民の意志をこの都議会議員選挙でも示しましょう。この道路計画にはっきりと反対している漢人あきこさんに期待します。現職は2月に都議会で道路に賛成する発言をしています。この選挙もひとつの意見表明です。私たちの思いを東京都に突きつけましょう!!　横須賀雪枝：中町

写真：「都市計画道路」建設予定地

チェンジ東京！ 小金井の会
小金井市本町 1-9-5-101
（武蔵小金井駅南口3分）
TEL：042-316-1169
MAIL：changetokyo.k@gmail.com
KANDOAKIKO.COM

市民（みんな）でつくる〈東京政策〉

小金井から変える　市民が変える
人に寄りそう グリーンな東京

1. 誰もが安心できるセーフティネット
2. 子どもと若者に希望の未来を
3. ジェンダー平等　人権と共生の社会へ
4. 気候危機！　脱炭素の先進都市へ
5. 緑と環境最優先　都市農業と生物多様性の保全
6. 賑わいのある、歩いて暮らせるまちづくり
7. 都政の見える化・都議会にチェック機能を

緊急政策

いのち優先のコロナ・経済社会対策を

ワクチン調達も思うようにいかず、接種の大幅遅れと、変異株の拡大とともにコロナ禍はますます深刻化しています。社会保障、医療体制の脆弱さや限界があらわとなり、いのちと暮らしが根本から揺らぐ事態が進行しています。生存権の保障をベースにしたコロナ・経済社会対策で、危機前の社会に戻すのではなく、持続可能で公平な社会をめざします。

PCR 検査体制の積極的拡充を公的負担で／再度の給付金支給・世帯単位から個人単位へ／営業制限・休業要請は補償とセットで／非正規労働者、派遣労働者、フリーランス、学生、シングルマザーへの休業補償・生活補償の強化／多摩地域各市に保健所／都立病院の維持、拡充／病院や保健所への財政支援を拡大／エッセンシャルワーカーの待遇改善／生活保護の手続き簡素化、要件緩和／公的住宅、空き家などの無償提供・「住居確保給付金」の継続／国籍や在留資格を問わない生活保障／中小企業、個人事業主の債権買取などの救済スキームの実施／精神的ケアの拡充／リモートワークへの地域での支援／安全性に配慮したワクチン接種政策を

感染爆発、医療危機につながる オリ・パラ東京大会は中止を！

立川市にある総合病院の窓ガラスに「医療は限界　五輪やめて！」「もうカンベン　オリンピックむり！」と大きな貼り紙が出されました。1年以上にわたり新型コロナと格闘し続け、感染者のいのちを守ってきた医療従事者の悲痛な叫びです。世論調査でも、「再延期すべき」「中止すべき」が8割を超えています。

爆発的な感染拡大が続くインドや、ワクチン接種が困難な地域も多く世界的なコロナ格差は著しくなるなか、選手団の派遣どころではない国々もあります。この感染ストレスと厳しい制限のなかでアスリートに選択や競技を課すべきではありません。すでに「安全で安心なオリンピック・パラリンピック」の破綻は明らか。一日も早く中止を決断し、コロナ感染対策に集中すべきです。

環境問題の取り組みに期待

私達は、経済的な豊かさを求めすぎた結果自然に多くの負荷をかけました。これからはやはり地球温暖化をはじめ環境問題をしっかり考えてくれる方が一番だと思います。特に武蔵野公園やはけの道を分断する都道の問題では、開発による破壊を止めていただきたいです。コロナ禍で身近な緑と生き物たちがどれだけ心と体を癒しているか多くの方がその価値を感じていると思います。東京都が環境都市として日本を牽引していくよう、漢人さんに期待しています。　邦永洋子（NPO団体代表）：緑町

多様な個性が光る楽しく元気な東京

「山は削るな。川は埋めるな。」の発想で自然を壊すことなく、緑あふれる街づくりが進むと良いなぁと思います。どこの駅に降りても同じようなお店ばかりではなく、そこにしかない個性あふれる街づくり。アフターコロナに向けて、お店も人も多様な個性がキラキラ光る楽しく元気な東京になるよう、漢人あきこさんにはおおいに期待しています！　野内隆（グラフィックデザイナー）：中町

「市民の政治」を実現しよう

この選挙は、政治のあるべき姿を取り戻す闘いだと思います。コロナのこと、オリンピックのこと、都市計画道路のこと、人々が挙げている声が時の権力に響かない、跳ね返されてしまうもどかしさを感じています。市民が参加し、ともに政策を練り、世に訴えていくこの「市民政治」「市民選挙」こそ、政治の原点ではないでしょうか。市民の声を聞き、まとめ、発信していく力のある漢人あきこさんを、今度こそ私達の代弁者として都議会に送り出したいです。
小山剛：東町

市議16年、実力は折り紙付き

歴史的コロナ危機の対策はキャッチフレーズや都民カルタだけ？ 口先ばかり小手先のパフォーマンスだけで、あとは皆さんご協力をと言われても…。こんな自分ファースト都政にうんざりの皆さん、今こそ漢人さんの出番ではないでしょうか？ 市民派市議４期１６年の実力は折り紙付き。前回の都議選でも都民ファ候補に迫る大善戦は大いに注目を集めました。今度こそ小金井市民の底力を見せつけようではありませんか。大熊ワタル（音楽家）

市民活動への情熱、課題解決能力に期待

漢人さんとは放射能測定器運営連絡協議会の活動でもう10年以上のおつきあい。会の中ではいつも客観的、冷静な視点で会の運営を引き締めてくれる存在です。市民活動における情熱もさることながら、実務的な能力も非常に高い方なのでどうしたら課題解決になるか？を具体的に考え、行動出来る方です。一本気なところもありながら人の意見に真摯に耳を傾けられる方でもあります。都政においても必ず小金井の課題解決にご尽力いただけると確信しています。　諏訪間千晃（イラストレーター・デザイナー）：貫井北町

給食のあり方をこれからも一緒に

評価の高い小金井市の学校給食が転換期を迎えています。給食の調理業務は、現在、直営4校、民間委託10校ですが、2019年に市は残っている直営校をさらに委託する方針を出しました。今後、市が責任を持ってチェック体制を維持できるのか不安です。効率的だから、民間委託の流れに逆らえないから…と簡単に進めて良いのでしょうか。市議のころから給食問題に取り組んできた漢人さんといっしょに考えていきたいと思います。　酒井美帆：本町

共に生きる社会をめざして

わたしには、ダウン症体質をもちあわせた娘がいます。『地域のなかで、子どものなかで育てたい』という想いで緑小普通級で六年間。そして「みんなといっしょがいいに、きまってる☆」と本人が決め、緑中普通級を選びました。人権を大切にする情熱ある先生方、子どもたち、保護者にも恵まれ、ただいま都立定時制高校普通科の一年生。青春です。
日本がすすめる『出生前診断』には大きな違和感があります。いのちの選別、社会のありようが問われています。共に生きる社会づくりを、漢人あきこさんとなら一緒に築いていけると思います。東京都がかわれば小金井市も日本もかわっていけます。　柳井美紀：緑町

市民（みんな）とともに 小金井から チェンジ東京！

漢人（かんど）あきこさんを応援しています

松下玲子
武蔵野市長

保坂展人
世田谷区長

阿部裕行
多摩市長

菅直人
衆議院議員

大河原まさ子
衆議院議員

石川大我
参議院議員

福島みずほ
参議院議員

上原公子（元国立市長）　**三井マリ子**（元都議）　**田島征三**（絵本作家）　**宇都宮健児**（弁護士）　**宮子あずさ**（看護師・著述家）
金聖雄（映画監督）　**こぐれみわぞう**（音楽家）　**坂田昌子**（環境NGO虔十の会代表）　**吉岡淳**（カフェスロー代表）

小金井市議会議員

岸田正義

坂井えつ子

白井とおる

たゆ久貴

寺内だい作

古畑俊男

水上ひろし

水谷たかこ

村山ひでき

森戸洋子

安田けいこ

人に寄りそう グリーンな東京へ

子どもたちの未来のために

市内の小さな保育所で働くなかで、子どもたちの育ちと、さまざまな大人たちの問題と向き合ってきました。子どもたちが、豊かな自然や、食や、人との関係の中で育ち、育てることができる環境を公的に整えることが必要です。子どもたちや若い人たちが、人生の同じスタート地点に立つことができる社会をつくりましょう。

気候危機は待ったなし！

次世代が生きていく未来が、過酷な気候暴走の世界にならないために、CO2ゼロへの取り組みは待ったなし！この数年が重要です。まずは石炭火力発電の廃止、そして、脱炭素、原発にも依存しない、環境最優先の持続可能なまちづくりへと大きな転換が迫られています。エネルギー最大消費都市・東京の責任と役割は重大です。

ジェンダー平等な都政へ

コロナ禍が女性を直撃しています。非正規の女性の失業者は男性の倍近い50万人、DV被害は1.5倍、女性の自殺者は1000人近くも増えてしまいました。ジェンダー平等な政策がとられてこなかった矛盾が一気に表面化しています。都庁の女性管理職は20.2%、女性都議は29.4%。政策決定とチェックの場にもっと女性が必要です。

小金井と都政をつなぎます

コロナと気候の二つの危機が示す指針は「グリーンリカバリー（環境優先の経済）」です。小金井の自然と暮らしを守る市民の想いと力をつなげて、＜人に寄りそう　グリーンな東京＞へ！ 小金井から。

漢人あきこ

❶ 4/11緊急企画「ミャンマーでの弾圧と人々」
❷ 4/22 緊急気候マーチ 都庁前スタンディング
❸ 5/5 こどもの日リレートーク SOCOLA武蔵小金井前